

「神戸の食」をお洒落にPR

シンガポール事務所

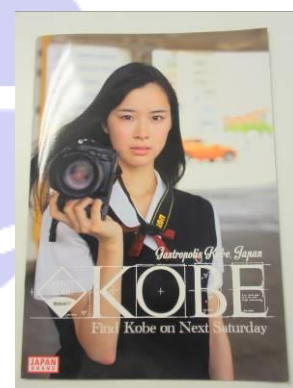
3月8日、「食都神戸」海外展開促進協議会主催による「神戸フードフェア in シンガポール」が開催されました。神戸市では、2015年度より「食都 神戸 2020」構想を推進しており、農業者、漁業者、流通事業者等で組織した協議会で海外での魅力発信に取り組んでいます。

シンガポールでは初の開催となった今回のフェアには、現地の飲食店、小売業者、卸業者等の参加者に対し、神戸市漁業協同組合が「神戸イカナゴのくぎ煮」「神戸ちりめん」「須磨のり」を、兵庫六甲農業協同組合が「神戸いちご」「神戸旬菜」「神戸ビーフ」を紹介したほか、神戸スイーツ・神戸ワイン・日本酒も紹介されるなど、神戸の豊かな食がPRされました。



会場の様子

会場は、お洒落な雰囲気なレストラン、カフェが集まるデンプシーヒルにある「アンリ・シャルパンティエ」が選ばれました。試食会では、神戸ビーフや野菜、神戸いちごを使ったケーキなどが出されるとともに、神戸市内の現役女子高生が神戸のタカラを探するというストーリー仕立てで「神戸の食」の魅力を紹介する動画「FIND KOBE」<http://findkobe.com/>も流され、会場の雰囲気とあいまってお洒落な神戸のPRの場となりました。



FIND KOBE の表紙

「神戸の食」が注目され、神戸産農産物の販路拡大が図られるとともに、神戸を訪れる外国人の増加にもつながることが期待されます。

(徳永調査役 兵庫県派遣)